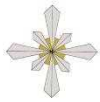


向陽中学校だより<第11号>



走れ向陽!

～夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
<重点目標> 他とつながり、自己の目標達成に向け全力で努力できる

平成29年10月16日(月)
<発行者> 校長 箭内仁史
〒976-0037
相馬市中野字桜町76
TEL35-2348 Fax35-2849

めっきり朝・夕の冷え込みが増し、秋らしい気配が感じられるようになりました。いよいよ今週から、生徒たちは本格的に合唱コンクールの練習や向陽祭の準備にとりかかります。保護者の皆様には、PTA三役会や拡大運営委員会で向陽祭のバザーや喫茶食堂の準備計画のため、夜遅くまで協議していただいております。心より感謝申し上げます。

先月30日(土)のPTA資源物回収には、各家庭からのたくさんの資源物がイオン駐車場に集まりました。毎回、ご協力いただいている回収業者の齋藤商店の皆様、趣旨にご賛同いただき場所を提供いただいているイオン相馬店様、和久様他、地区での回収場所におきましても、区長様他、多くの方々のご協力、ご厚意によって成立する向陽中PTA独自の事業になります。ご協力本当にありがとうございました。収益金は主に部活動支援のために有効に使わせていただきます。



また、5日には特設女子駅伝部が、福島で行われた県駅伝大会で相双地区の代表として、チーム一丸となって精一杯の走りを見せてくれました。自己記録更新が続出し総合17位とベストを尽くした走りを見せてくれました。ご声援ありがとうございました。



後期生徒会スタート



11日(水)に後期生徒会総会を実施しました。校長あいさつの一部を紹介します。『生徒会スローガンスローガンは「Next Stage～ぼくらがつくる!明日も“笑顔”～」です。人は、目標を持ち、努力した結果一段上のステージに到達したときに大きな喜びを感じるものです。前期生徒会では、向陽中の全ての生徒が笑顔で過ごせるよう、いじめ根絶に向けて、携帯・スマホの使い方について、新しい試みに挑戦してくれました。心より拍手を送ります。「ぼくらがつくる」にはコミュニケーション力をつけることだと思います。いつ、どこでつけたらよいのでしょうか。それは一番長い時間を過ごしている授業中の対話的な学習の中で獲得するのです。それから、何かを成し遂げるためには、「やるぞ、なにくそ」という「気力」が必要です。「あきらめさえしなければ、どこまでもいける」という気迫でのぞむことです。』今回も「いつから、どんなことをするのか」「こんなことをしたらどうか」等の真剣で、建設的な意見が数多く出され嬉しく思いました。さらに上を目指し、進歩する生徒会に大いに期待しています。

第65回福島県PTA研究大会いわき

15日(日)に福島県PTA研究大会いわき大会がアリオスで開催され、前渡邊PTA会長様が福島県PTA連合会会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。分科会ではテーマ「今、必要な親の背中」に基づき、子どものネット付けの対応策や学力向上、健康安全についてグループごとに熱心な話し合いがなされ、親子、地域、学校が一緒になって行動することの大切さを確認しました。

最後に、演題「福島の子どもの元気、そして夢を育む」について、ぴあ株式会社社長「矢内 廣」氏の講演がありました。「私の夢応援プロジェクト」の取り組み、「人は何のために生き、働くのか」「子どもの夢は、大人の都合で押しつけるものではなく、子どもが成りたいこと、知りたいことを自分で見つけていくもの」であること等、実体験に基づく貴重な話を聴くことができました。

